

1840 参加 快晴
出発 10:00

行程; 二宮駅・伊達時彰徳碑・ガラスのうさぎ→浜の観音さん→妙安寺→藤巻寺→
双体道祖神→宝蔵院→一里塚・押切坂→茶の薬師堂→松屋本陣跡→密蔵院→
双体道祖神→袖切り地蔵尊→西光寺・子育て地蔵→川匂神社→吾妻山公園・吾
妻神社・浅間神社→知足寺→徳富蘇峰記念館→二宮駅着。

食事場所; 西口駅前「小松屋」TEL 0463-72-4770

二宮宿

大磯と小田原の距離が比較的長いことから、つくられた、小規模な宿。江戸方急な下り坂、駕籠や人々が馬と共に一息入れたと言う。坂道には「江戸より十八里」と記された一里塚が残る。

二宮地名由来; 4世紀中頃には、大和朝廷を形成する豪族らによる日本国土統一が進み、此の地は師長(シガ)国に属する地名「霜見(字名に塩海浜有ったと記される)」と呼ばれ、大化の改新(645)の国郡制により、相武(サガミ)国と合併し、相模国となり、相模国余綾(ヨキ)郡霜見郷となり、それまで師長国の一の宮であった川匂神社が、相模国二の宮になり、一の宮の地位を寒川神社に譲ったと言う。川匂神社の存在する地域を「二宮」と称する様になったと言う。探訪にのみや抜粋

1・伊達時彰徳碑(ダテキョウトクヒ・東口駅前)・ガラスのうさぎ像

明治維新以降、二宮の発展と社会福祉の増進に尽くした伊達時を記念して建立。彼の功績は二宮駅設置、大磯女子敬業学舎の開校、平塚盲学校初代校長など多岐に渡る。

○ガラスのうさぎ像(昭和56年永遠の平和を願う人々の浄財によって二度と戦争はあってはならないと建立)

ガラスのうさぎを抱いた乙女の像。第二次世界大戦中、二宮の空襲で父を失った体験を綴った高木敬子さんの小説「ガラスのうさぎ」にちなんで建てられた。町民の平和への願いも込められている。

2・浜の観音さん(海岸に出る小道の小さい祠に石碑1基、石仏5体)

昔、伊豆方面から石材を積んで江戸に向かう船が二宮の沖で突風にあい、沈没、救助も空しく、6名死亡、2人は助かった。遺体は手厚く葬られ、人々の手厚いもてなしに感謝した船主と家族は、数ヶ月後石碑と石仏を運んできて、お礼と供養のためこの浜辺に建ててくれる様頼んだと言う。以来、水難・海難・災害除けの観音さんとして鎮座している。

3・妙案寺(日蓮宗京都大本山山圀寺末・浜のお祖師さん・了勝山・本堂に塩見道場額・寺宝鬼子母神十羅刹の女絵)

開山は日源上人。近衛家系墓三基と石碑・寺宝は、北条時代の遺品で、明治30年、北条家菩提寺、小田原中島の本久寺から返され、天正11年(1583)3月3日の日付とともに法印権大僧都日禎の名があり、昭和32年2月6日の産経新聞紹介されたと言う。

10:25~30

- 4・等覚院（別名藤卷寺・古義真言宗・梅沢山・本尊不動明王・両脇侍・境内西側薬師堂百体観音像秩父 34 番板東 33 番、西国 33 番札所巡り功德有りと言う、江戸時代作・昭和 49 年天然記念物指定白藤の古木推定樹齢 400 年・梵鐘寛文 8 年銘，昭和 49 年町指定文化財，元吾妻神社別当千手院にあったと伝う、町内現存する最古・寄木造玉顔入背面朱書銘薬師如来立像、享禄 5 年 1532 後北条時代に、※印参照、二宮庄と呼ばれていた事確認されると言う、町内最古）

昔東光寺と神願寺あったが、永禄 4 年（1561）兵火で焼失。天正 3 年（1575）僧で号を東覚房、名を実雄が、両寺を合わせて現在地に再興、東覚院としたのが始まりと言う。寛文（1661~73）の頃仁和寺の宮が関東に下向時、この藤の花を見て藤卷寺の別号が付けられたと言う。※印銘：「大日本国相州動木郡二宮庄之内海澤於宿奉殊薬師如来再興壇郡宮戸臣朝昌林比丘敬白于時享禄五年壬辰六月十三日」

- 5・双体道祖神 10:35

- 6・宝蔵院（曹洞宗大応寺末・延命山・本尊延命地藏菩薩）

- 7・一里塚（江戸から一八里・此处から大磯寄り梅沢の立場で間の宿として賑わった）・車坂碑（国道東前川信号） 10:45

- 8・松屋本陣跡（旧道押切坂） 10:48

- 9・茶屋の薬師堂（神仏分離令川勾神社より分かれ茶屋地区所有・寄木造り彫眼漆箔坐像推定江戸時代作像高 261.5 cm、面長 48.5 cm、昭和 49 年町指定文化財・例講毎月 1 日 11 日 20 日・大銀杏） 10:53~ 11:00

- 10・密蔵院（古義真言宗→真言宗東寺派・川輪山広濟寺・本尊不動明王胎中仏像覚罽作と言うが不明・欄間に龍，鳳凰彫刻、山西の宮大工周助作と言われ近郷の寺社建築、神輿造りの名人達人と言う） 11:05

開山は覚罽（カバシ）密言坊と言う。中興は恵雅（永禄元年 1558 入寂）と言う。

- 11・双体道祖神

- 12・袖切り地藏尊（地藏前のテホコ道で転んだ子供にカが無くて良かったと切れた袖供えた事からと言う・此からもカが無い様に信仰）

- 13・西光寺（真言宗東寺派・無量山両宝院・本尊不動尊伝興教大師作・寺宝木造釈迦如来、観音像、弘法大師坐像等多数・身代延命子育地藏、伝寛政年間天津波死者慰霊厄除建立・大日堂内に精巧な三重の塔・カヤノキ町指定天然記念物樹齢 500 年） 11:12~20

鎌倉時代正安 4 年（1300）大僧都快實開山と伝う。天正 4 年（1576）良印再興・安永 2 年（1773）全海和尚復興。

- 14・川勾神社（カワ・相模国二の宮の格式・祭神地神，級津彦命，ツツヒコ，級津姫命他 2 神・例大祭 10 月第 2 日曜日・国府祭コノマチ 5 月 5 日・御筒粥ミツガユ祭 1 月 15 日・2 月節分等・田舟；町指定苗運搬用奈良時代頃迄用いたと推定） 11:25~40

二の宮全町の氏神。創祀は第十代垂仁天皇（古事記日本書紀伝承天皇）時だと伝

金野 12:00

われ、皇室、幕府、武士団、崇敬が深く、徳川氏も代々信仰したと言う。建久3年(1192)源頼朝が政子夫人の安産祈願のため神馬を奉納、源氏将軍や北条氏、戦国時代の後北条、江戸時代小田原藩の崇敬を受けた。中村川上流、立ち寄りには、やや距離有り。古文書5通;小田原北条関係徳川家康を名護屋の陣に訪問したもの、戦国末期から江戸時代にかけてのもの多数現存、昭和49年町指定文化財社宝、雨乞いに使用されたと伝う「あみ石」(祖先が伊勢二見が浦から持ち帰ったと言う)・ずいじん門に祀られている木像2軀、木像4軀(共に兵火を逃れ1000余年前の物)。
○川匂の湯場;神社2の鳥居西側道下崖に、かつて、湯場の源泉の跡がある。以前崖の上に三階建ての湯宿があり多くの入浴者で賑わっていた(二宮駅開設の明治35年頃)大正12年関東大震災で宿壊れ営業に支障が生じ廃業。

15・神明神社(一色鎮守・160年前頃廃寺光寺支配下神社と伝う、昭和25、6年谷戸の宮大工小池棟梁改修時茅葺き屋根から現屋根に・信仰武運長久、病氣治ゆ・桜)

吾妻山登山口 12:07

16・吾妻山公園・吾妻神社(吾妻山公園内、小動物園、展望台、飲料水、管理事務所WC)・浅間神社

①吾妻神社(御神体は弟橘媛命を祀った木彫り千手観音東巻寺保管・夫、日本武尊武運を祈り海に投身した妻弟橘媛命の小袖が流れ着いた事から建立・例祭1月第3日曜日、縁結びの神・吾妻は吾が妻の意)

第12代景行天皇の時代に創建と伝う・祭神弟橘姫はこの付近に勢力持つ師長国造の娘だったので形見を埋めた所とも言う。

②浅間神社(祭神木花咲耶姫富士山守護神・例祭現在は4月第2日曜日)

由来は鎌倉時代に曾我兄弟が父の仇討ちの際、兄弟の妹花月尼が、本懐が達せられる事を願って毎朝富士山に向かってお祈りしたと言う。他説も有り。

17・知足寺(チクジ・浄土宗京都知恩院末・海山花月院・本尊、阿弥陀如来伝恵心作・寺宝乗鞍伝曾我兄弟遺物、百万遍念仏大数珠安政4年作・曾我兄弟と朝忠夫婦の4基の墓、元禄7年(1694)再造記録以前は五輪塔)

鎌倉時代初期此の地付近支配した二宮朝忠の妻花月尼(曾我兄弟姉)を開基とする。建久3年(1192)5月、曾我兄弟は父の仇工藤祐経を討って永年の本懐を遂げ、討死にした。兄弟には土地の豪族二宮朝忠(朝定)に嫁いだ姉がおり、姉は出家して花月尼と称し1字を創し、兄弟の菩提を弔った。

18・徳富蘇峰記念館(徳見蘇峰秘書、塩崎彦市氏が集めた資料・個人記念館にて月水金週3日会館大人500円団体20名以上450円、中高生200円・TEL0463-71-0266・団体見学要相談)

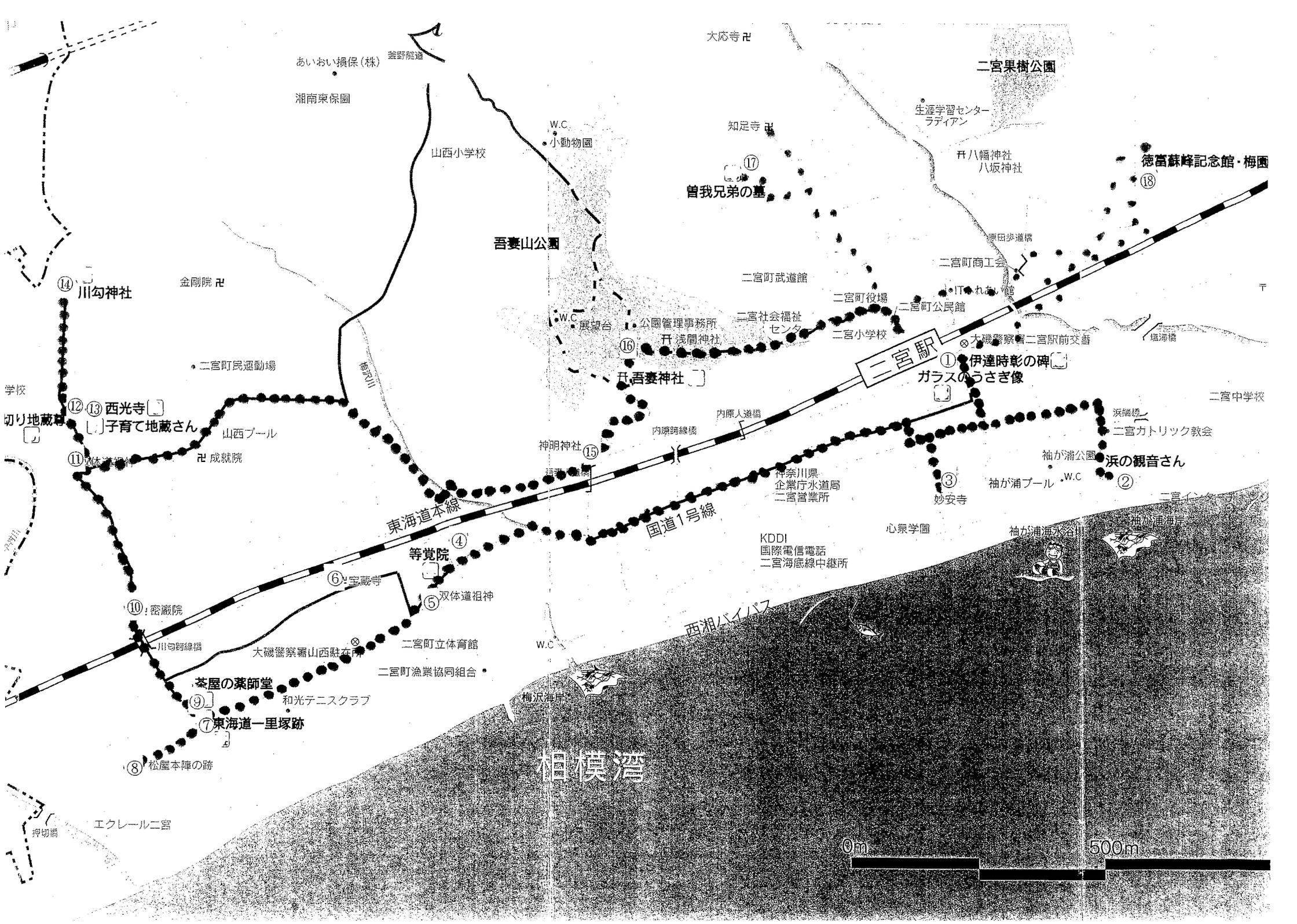
明治、大正、昭和の三代にわたって、言論・出版など幅広く活躍した徳富蘇峰翁の蔵書、原稿、揮毫(キョウ)、書簡、遺品が多数収蔵・展示されている。本記念館は昭和44年5月蘇峰の秘書を晩年17年間勉めた故塩崎彦市氏によって邸内に建設され、蘇峰宛手紙4万4千通(閲覧可)庭には樹齢300余年の梅の老木100本程、春には多くの花を咲かせる。

○徳富蘇峰(徳富蘆花5歳上兄);文久3年(1863)熊本県生まれ、昭和32年(1957)95歳没。明治・大正・昭和わたって言論・出版等幅広く活躍。

以上

小松屋 12:20~13:00 (昼食)

御電車 二宮駅 13:00 大船 13:00 着



あいおい損保(株)
湘南東保園

大応寺 卍

二宮果樹公園

山西小学校

W.C.
小動物園

知足寺 卍

生涯学習センター
ラヂアン

⑬
曾我兄弟の墓

卍八幡神社
八坂神社

徳富蘇峰記念館・梅園 ⑱

吾妻山公園

⑭
川勾神社

金剛院 卍

二宮町武道館

二宮町商工会

・二宮町民運動場

W.C.
展望台

⑯
卍吾妻神社

二宮社会福祉センター
卍浅間神社

二宮町役場

二宮町公民館

二宮小学校

大磯警察署二宮駅前交番

二宮駅 ①
伊達時彰の碑
ガラスのうさぎ像

二宮中学校

⑫ ⑬
西光寺 卍
子育て地藏さん

山西プール

卍成就院

神明神社 ⑮

内原人道橋
内原踏線橋

神奈川県
企業庁水道局
二宮営業所

③
妙安寺

袖が浦公園
袖が浦プール W.C.

②
浜の観音さん

二宮インテ

④
等覚院

⑥
宝蔵寺

⑤
双体道祖神

⑩
密蔵院

川勾踏線橋

大磯警察署山西駐在所

二宮町立体育館

二宮町漁業協同組合

茶屋の薬師堂

和光テニスクラブ

⑦
東海道一里塚跡

⑧
松屋本陣の跡

W.C.
梅沢海岸

相模湾

西湘バイパス

エクレール二宮

0m 500m

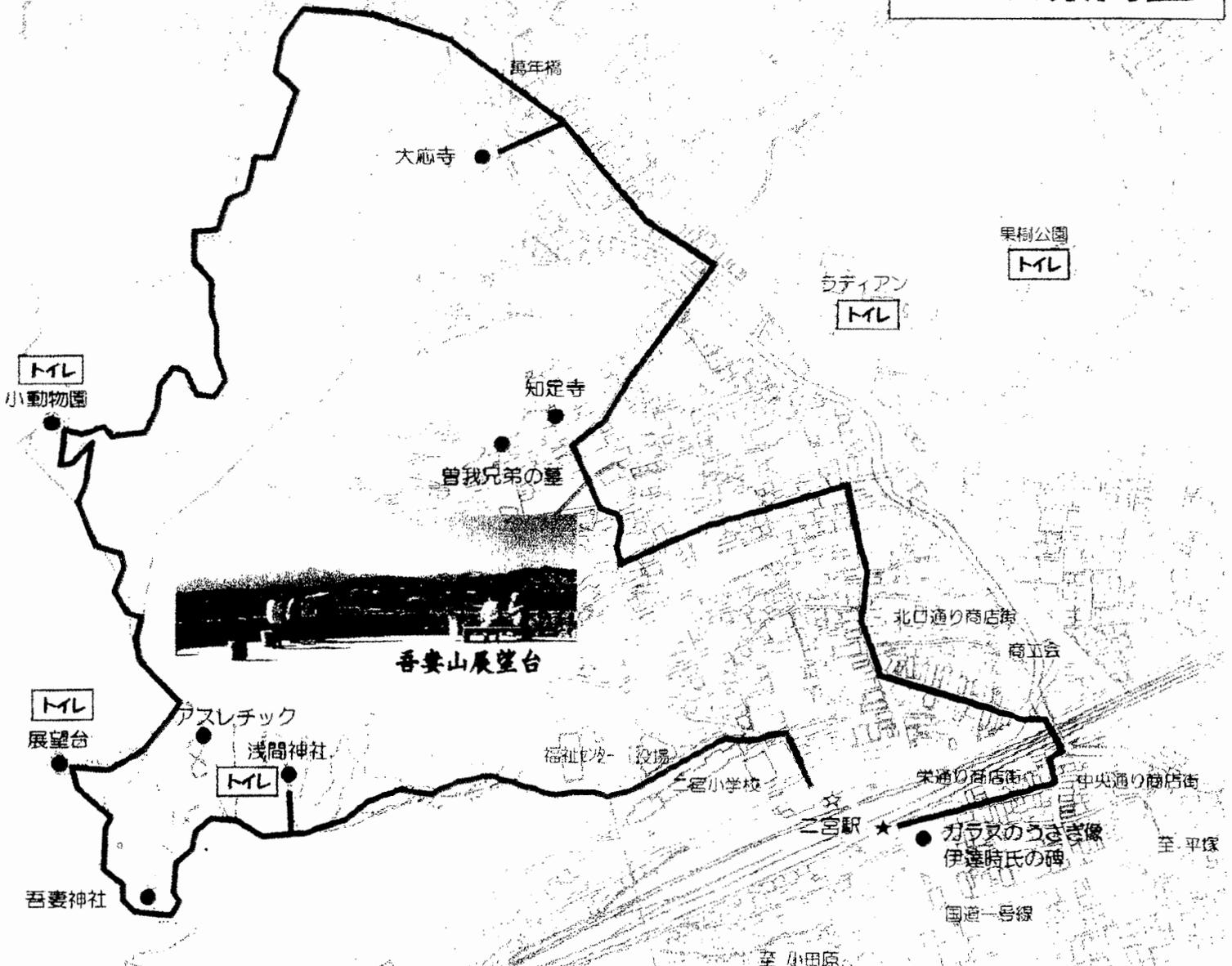
旧道めぐりコース

距離 約4.5Km・・・所要時間 約3時間

吾妻山から小動物園を経て万年橋へおり、旧県道を歩きながら二宮駅南口にまわるコースです。

☆「二宮駅北口」・・・→ ●「浅間神社」・・・→ ●「吾妻神社」・・・→ ●「吾妻山展望台・アスレチック」・・・→ ●「小動物園」・・・→ 万年橋・・・→ 旧県道を南下・・・→ ●「大応寺」・・・→ ●「知足寺・曾我兄弟の墓」・・・→ 北口通り商店街・・・→ 葛川を渡り、中央通り商店街・栄通り商店街へ・・・→ ●「ガラスのうさぎ像・伊達時氏の碑」・・・→ ☆「二宮駅南口」

コース案内図



《注意事項》

- ・このコースはあくまでも参考であり、皆さんのお好みで、にのみやの散策をお楽しみください。
- ・車等に十分お気をつけください。
- ・ゴミは持ち帰りましょう。

凡 例

起 点 … ☆

終 点 … ★

見学地点 … ●



富士眺望コース

距離 約4Km・・・所要時間 約2時間

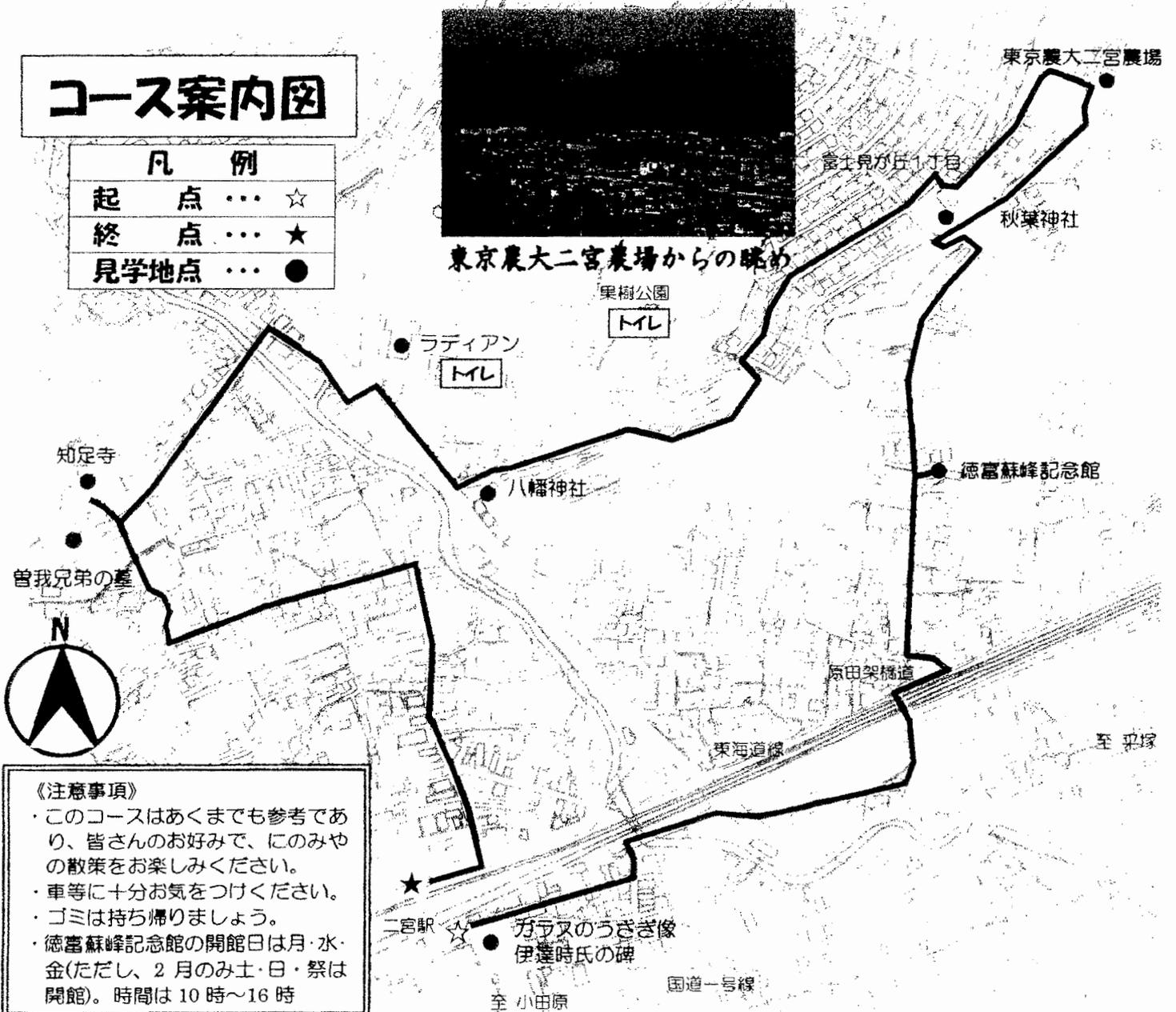
二宮駅南口から徳富蘇峰記念館をめくり富士見が丘に登るコースです。
 天气が良ければ富士山も眺望できます！

☆「二宮駅南口」・・・→ ●「ガラスのうさぎ像・伊達時氏の碑」・・・→ 南口商店街・栄通り商店街を通り、突き当りを左折する・・・→ 県道を渡り、東海道線に沿って東進む・・・→ 東海道線・原田架橋道をくぐり北上する・・・→ ●「徳富蘇峰記念館」・・・→ 上り坂・階段を登る・・・→ ●「秋葉神社」・・・→ さらに階段を登っていく・・・→ ●「東京農大二宮農場」・・・→ 南西へ下る・・・→ 住宅街・富士見が丘一丁目・・・→ 下り坂・階段を降りる・・・→ ●「八幡神社」・・・→ ●生涯学習センター「ラディアン」・・・→ 旧県道に入り、すぐ左折・・・→ ●「知足寺・曾我兄弟の墓」・・・→ 北口通り商店街・・・→ ☆「二宮駅北口」

コース案内図

凡例

- | | | |
|------|-----|---|
| 起 点 | ... | ☆ |
| 終 点 | ... | ★ |
| 見学地点 | ... | ● |



《注意事項》

- ・このコースはあくまでも参考であり、皆さんのお好みに、にのみやの散策をお楽しみください。
- ・車等に十分お気をつけください。
- ・ゴミは持ち帰りましょう。
- ・徳富蘇峰記念館の開館日は月・水・金(ただし、2月のみ土・日・祭は開館)。時間は10時～16時

